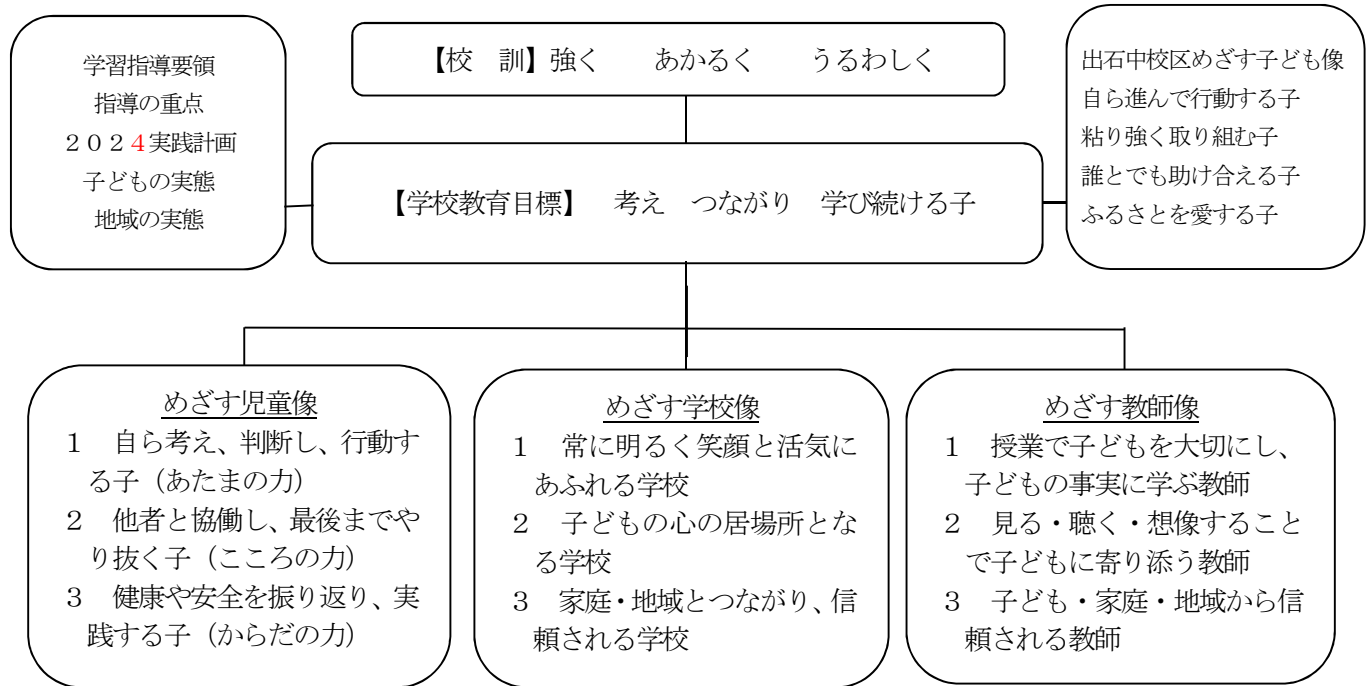


1 学校教育目標



2 教育実践の理念 (キーワード)

- (1) 子どもの事実に学び、子どもに寄り添う教育 (意味づけと価値づけ・「褒める・認める・喜ぶ」)
- (2) 授業で子どもを大切にする。授業で学級をつくる。授業で実践を重ねる。
- (3) 非認知能力 (やり抜く力・自制心・協働性) 向上の視点を取り入れた教育活動
- (4) 褒めるための種をまく (認められる、賞賛される、子どもが成長を実感する)
- (5) 定量評価 (数値) と定性評価 (印象) で常に改善を図る (PDCA サイクル)
- (6) 協働と参画による学校運営 (多様な見え方の重ね合い)

3 重点指導目標

～安全・安心な学校づくりと心のケアの継続～

- (1) 子どもの心と体の状態の把握と対応 (アセス、子どもの心のケアのためのアンケート等)
- (2) 学校ならではの学びの充実と魅力ある教育活動 (学び合い、体験活動、人間関係づくり、自己実現)
- (3) 特別な支援が必要な子どもへの支援の充実 (「支援の要らない子は一人もいない」理念の具現化)
- (4) 生徒指導提要に基づく不登校・いじめ等への未然防止・早期発見ときめこまやかで迅速な組織的対応
- (5) すべての教育活動で人権教育の視点、道徳教育との関連を意識した指導の継続
- (6) ICT を適切に活用した学習活動の推進 (ICT 活用の日常化と学びの保障と充実)
- (7) 地域資源を活用したふるさとへの愛着をはぐくむ取組 (ふるさと教育の充実)
- (8) 読書活動の推進と環境整備
- (9) 同僚性を基盤とした子どもの事実から学び合う校内研修の推進
- (10) 参画と協働による働きがいのある学校づくり